

留学だより④



ナマステー！AFS 7 1期としてインドのパンジャブ州に留学中の小石川 16 期の井之介です。

1 インドのダンスを披露する！ 2 学校の寄宿舎に潜入！ 3 テスト期間について

今回は 3 本立てでお送りします！！

<インドのダンスを披露する！>

体操部の輝きがうらやましくてずっとやってみたかったダンス。まさかこんな形で実現するとは思ってもみませんでした。私の披露したダンスは Bhangra (バングラ) というダンスです。このダンスは私の住むパンジャブ州の伝統的なダンスで、とてもダイナミックで体全体を使うことが特徴です。本当に見た目よりも大変で、すべての関節を最大限に広げるエアロビクスをイメージしてほしいです。今回は Bhangra の HOUSE (3つの寮) 対抗の大会でした。

練習は約 1 か月前から始まります。朝 1 時間に放課後 2 時間と、ダンスを全くしたことのない私にとってはかなりハードな練習でした。一緒にパフォーマンスする仲間の中には小学生のころからずっと続けている人もいれば、私と同じように初めての人もいます。毎日 3 時間も一緒に練習するので、自然と仲良くなって学年が違う新たなお友達も増えました。

発表 1 週間前になるといよいよ本格的な練習になります。授業をすべて休んで、学校にあるステージで発表のリハーサルをします。最初は、みんなが授業を受けている間に踊っていてもいいのかしらと思っていましたが、どうやらこれが普通なようです。リハーサルの間は一緒に対決する他の HOUSE (寮) のダンスも見ることができて、対抗心バチバチでした。

本番当日

本番当日は家で衣装を着た状態で学校に向かいます。日本と違って車で送迎してもらえるので街中を歩くということはないですが、やっぱり少しドキドキします。学校について準備をする部屋で、みんなと発表用のメイクをします。舞台上でも映えるようにメイクはとにかく華やかさ重視で、濃くキラキラ！という感じです。私は友達に途中までやってもらったのですが、真っ赤なチークをつけたときはさすがにアンパンマン過ぎて焦りました。でも結局は、全体のメイクが濃いのでなじんでしまうという、恐るべしインドメイクですね。

そしていよいよヘアメイクです。ヘアメイクといっても髪の毛ではなく、頭に巻くスカーフのようなものを固定し、髪飾りのピンディを固定します。固定するときは瞬間接着剤を使うという、かなり強気です。ピアスもつけるのですが、太すぎて頑張っってねじ込むか、これもまた瞬間接着剤かの二択でした。

本番

私たちの発表は最後の出番だったので本当にドキドキでした。紹介のアナウンスがされるとダンスが始まります。照明に照らされているのでとにかく何も見えませんでした。最後まで踊り切れてよかったなと思いました。



<学校の寄宿舎に潜入！>

私の学校には寄宿舎があります。女子100人、男子250人ほどが学校の寮で暮らしています。寄宿舎に住む人たちは同じ州に家がありますが、車で4時間ほど離れていたりするので親元を離れて暮らしているそうです。私は Bhangra の練習中に車で迎えが来るまでの2時間ほどを寄宿舎のみんなと毎日過ごしていたのでそこでの発見をお届けします。

一階

一階は食堂です。長い机に長椅子があります。食事の時は決まった席に座って食べます。席はだいたい低学年と高学年が交互に座っていて、ベジタリアンとノンベジタリアンでも分けられています。ご飯のメニューは大体大きな器に入ったカレーに大きなお皿に盛られたごはんか ROTTI という薄いナンのようなものを食べたい分だけ取って食べるスタイルです。ほかには玉ねぎやキュウリ、ヨーグルトもつけることもできます。人気メニューは引っ張りダコなので、なかなか大きな器が回ってきません。

二階

二階は学校の教室です。入ることはできません。

三階

皆の暮らす三階にはベッド、お風呂、洗面所、一人一個のタンス、洗濯機などがあります。特に驚いたのはほとんどの人が同じ部屋で寝ているということ。私の想像だと4人一部屋くらいかなと思っていたのですが、一つの部屋にベッドがずらーと並んでいてびっくりしました。でも噂によると男子寮は8人一部屋なんだとか。男子寮、女子寮でもいろいろ違いがありそうです。

寄宿舎のルール

- ・家族と電話で切るのは週1、何か物を買いたいときは寄宿舎のママ経由で家族に買ってもらう。
- ・朝5時起床、夜11時就寝
- ・週末は家族と過ごせるけど、車で4時間ほどかかる人もいるから、大体は長期休みか連休だけ
- ・スマホなどの電子機器の持ち込みはNG

こう考えるとかなり厳しいなと思いますが、ほかの学校の寄宿舎はさらに厳しかったりするところもあるそうです。日本ではあまりなじみがなかったもので、違いにいつも驚いています。



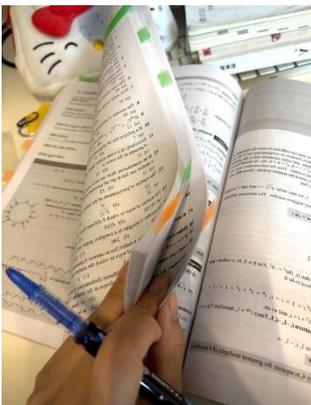
<テスト期間について>

いよいよやってきましたテスト週間。皆が行事週間で盛り上がっているころ、私はテスト期間真っ只中。皆がうらやましくてしかたがありませんでしたが、インドの学校ではテストは日本のテストよりも重要視されています。なぜならインドの学校では、普段の授業はいくら休んでも留年にはならないのですが、テストを休んでしまったりとんでもなく低い点数を取ってしまったりすると留年になってしまうのです。

また、教育熱心な親も多く、テストの点を日本よりも重視しているなと思います。テスト一週間前になると学校を休んで家で猛勉強という人も少なくありません。テスト前なのに休んで大丈夫なの？と思ってしまいますが、テスト範囲はすべて教科書から出されるので先生からプリントを配られることもありません。ペーパーレスの時代です。

テスト期間は約1週間半。土曜日にもテストがあるので休みは日曜日だけです。また、1日1教科で3時間のテストを午前8時から午前11時まで受けて終わりなので、一日漬けも可能だったりもします。

テストの形式も違います。小石川の場合、先生の作成した解答用紙を埋めていく形ですが、私の学校ではノートのページが5枚ほど配られてその紙に答えを記入していくという形式です。そしてノートが足りなくなったら先生にその都度もらうという形式です。また、問題形式も選択肢の問題はほぼなく、ほとんどが記述です。記述は文字制限がないものが多いので、書いたもの勝ち的な部分があり、みんなとんでもないスピードで解答用紙を埋めていきます。多い人はノート20ページほどを埋めます。英語の記述に慣れていない私は本当にテストが大変だったという感想しかありません。



数学の範囲の広さに絶望する様子

間食が増えがちなテスト期間

運動のすばらしさに気づく

少し長くなってしまいましたが、最近の様子をお届けしました。今月の神様はスペースがないのでおやすみです。次号もぜひ読んでください。